

科目名 Course Name	健康管理総論 General Remarks of Health Care			ナンバリング No.	G3-008		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	板倉 茂樹、本庄 広大						
連絡先(質問等)	本館2階研究室か、メールで対応、オフィスアワーは月曜日を除く授業短時間以外						
必修/選択	選択(健康運動実践指導者資格関連科目)						
関連DP	DP2、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>健康管理に必要な健康や健康増進の概念やわが国の健康づくりのための施策の推移と現状を解説する。また、現代社会において問題となっている生活習慣病や介護予防の実態、さらに運動負荷前のメディカルチェックについても学修する。</p> <p>① 健康運動実践指導者に必要となる健康や健康の概念やわが国の健康づくりのための施策の推移と現状を説明できるようにする。</p> <p>② 現代社会において問題となっている生活習慣病の成因やその予防法について考えることができるようにする。</p> <p>③ 超高齢化社会における介護行政の実態や介護予防の施策について説明することができるようにする。</p>						
授業の方法	講義形式で実施し、映像機器を利用した視聴覚教材を用いる。また、関連科目の基礎知識については、無作為に口頭試問を実施し、学生の理解度が不十分な場合は、予習課題として次回授業開始時に発表してもらう。上記の3つの授業目標に関する授業内容が完了した時点で、小テストを実施する。必要に応じて授業時間以外に予習・復習をし、いつでも発表できるように準備すること。						
学習成果	L01						
	L02	① 健康運動実践指導者に必要となる健康管理の概要を知り、現在わが国で増加している生活習慣病の成因や予防のための施策内容を説明することができる。 ② 運動療法に欠かせない運動負荷によるメディカルチェックの概要を説明することができる。					
	L03	超高齢化社会に伴う要介護者の増加が社会的な問題になっているわが国において、介護に関連する行政や法規及び保健制度を説明することができる。また、介護予防の実態を解説することができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テストは試験後に模範解答を示し、試験結果は授業内に各自に返却する。						
教科書/参考図書	教科書:健康運動実践指導者養成用テキスト(健康体力づくり事業団) 参考資料は必要に応じて配布する。						
履修上の留意点やルール等	講義中の飲食、携帯電話の使用は禁止する。また、欠席日に配布された資料や講義内容のまとめは各自が自己管理すること。 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	最高評価は授業に集中し、必要なことはきちんとノートにとる。また、分かりにくい点があれば積極的に質問する。		10		
レポート/作品	課題についての的確に調べられ、自分の考えを述べられている。			20	
発表	要点を整理し、相手に分かりやすいように工夫している。		20		
小テスト					
試験	設問に対して、どれだけの確に解答できるか、その割合で評価する。			50	
その他					
合 計			30	70	

回数	授業計画	
1	授業内容	講義ガイダンス(成績評価法、学習方法):担当 板倉
	事前・事後学習	今回の事項にある敵s津ページをよく読み、それぞれの内容をまとめること。
2	授業内容	健康と健康増進の概念(健康の定義、アルマ・アタ宣言、オタワ検証) :担当 板倉
	事前・事後学習	各宣言や憲章の内容の違いを整理すること。
3	授業内容	健康を阻害する要因 :担当 板倉
	事前・事後学習	現在における健康を阻害する要因のうちで影響の大きいものを考える。
4	授業内容	わが国の疾病構造の推移 :担当 板倉 (課題レポート1)
	事前・事後学習	わが国の疾病構造は過去のいつごろから同じか調べる。
5	授業内容	わが国の健康づくり施策の推移 I (第 1 次国民健康づくり対策、第 2 次国民健康づくり対策) :担当 板倉
	事前・事後学習	第 1 次と第 2 次における施策内容の違いは何か、まとめること。
6	授業内容	わが国の健康づくり施策の推移 II (身体活動・運動の社会環境対策、健康日本 21、健康増進法) :担当 板倉
	事前・事後学習	健康日本 21 は第 1、2 次と大きく異なることをまとめること。
7	授業内容	わが国の健康づくり施策の推移 III (健康フロンティア戦略、食育基本法) :担当 板倉 (課題レポート2)
	事前・事後学習	健康フロンティア戦略ができた社会的背景は何か。新健康フロンティア戦略とは。
8	授業内容	わが国の健康づくり施策の推移 IV (健康づくりのための運動基準 2006、がん対策基本法) :担当 板倉
	事前・事後学習	わが国のがん対策がどのように経緯し、がんによる死亡率はどのようになっているか調べる。
9	授業内容	メタボリックシンドローム(概念と成因、診断基準、行政対策) :担当 板倉 (グループ発表)
	事前・事後学習	メタボリックシンドロームの概念とは何か。行政対策はどのようになっているか。
10	授業内容	介護予防1(わが国の人口動態と高齢化、平均寿命の推移、健康寿命の概念) :担当 板倉 (グループ発表)
	事前・事後学習	健康寿命の概念と行政対策の推移はどのようになっているか。
11	授業内容	介護予防2(介護保険法と介護予防の実際) :担当 板倉 (グループ発表)
	事前・事後学習	介護予防の行政対策はどのようなものか。
12	授業内容	生活習慣病1(生活習慣病の概念、各種生活習慣病罹患率の推移) :担当 本庄
	事前・事後学習	生活習慣病の概念とわが国における罹患率の推移はどのようになっているか。
13	授業内容	生活習慣病2(各種の生活習慣病における病的機序—栄養・食生活・運動、休養—) :担当 本庄
	事前・事後学習	最も罹患率の高い生活習慣病での病態と生活習慣の改善点を考える。
14	授業内容	メディカルチェック1(目的、手順と内容) :担当 本庄
	事前・事後学習	メディカルチェックの重要性とは何か。

15	授業内容	メディカルチェック2(医学的検査の意義と実際、運動負荷試験の必要性と実際) :担当 本庄
	事前・事後学習	医学的検査の意義は何か。